

非常持ち出し品にマスクを入れましたか？

## マスクケースで、防災について考えよう！

STEP1 マスクケースをつくる

STEP2 マスクケースの中身をチェック！

ポイント その①

新型コロナウイルス感染症が収束していなくても、避難してもよいのですか？

### 災害から命を守るために

自宅等が危険な場所にある場合は、新型コロナウイルス感染症が収束していない状況でも、災害時には避難することが原則です。一人ひとりが自覚と思いやりをもって行動しましょう。



避難するときは



を忘れずに！



など、基本的な感染症対策を心がけましょう。

警戒レベルに応じた行動をとりましょう。

### しまね防災メールを使った 防災情報の入手

「しまね防災メール」では、地震・津波情報、気象注報、土砂災害警戒情報、河川洪水予報、国民保護情報など防災情報や緊急のお知らせをメールで配信します。  
どなたでもご登録いただけますので、ぜひご利用ください。  
※無料でご利用いただけますが、通信に要する費用（パケット料）は、ご利用される方の負担となります。



ポイント その②

どんな情報で避難したらいいのだろう。

ポイント その③

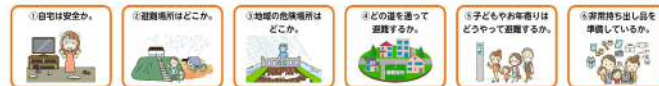
事前の備えは大切だけれど、何をすればよいのでしょうか。

### 避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

市町村が作成しているハザードマップ等を用いて、お住まいの地域の危険箇所を調べ、家族や地域の方と避難場所や避難する道順を話し合っておきましょう。避難場所に避難するだけでなく、安全な親戚・知人宅へ避難することも考えてみましょう。



話し合う際のポイント (例)



### 非常持出品チェック表 (例)



通常の非常持出品に加えて、マスクやアルコール消毒液、体温計、除菌シートを備えておきましょう。あなたの対策が、まわりの人も守ります。

ポイント その④

非常持ち出し品には、何を入れておけばよいのだろう。

STEP3 メモ欄には、避難する場所や、避難する時に気をつけることなどを残しておこう。

STEP4 さいごはマスクケースにマスクを入れて、非常持ち出し品へ！